



検討版

「社会資本整備及び公共投資の グランドデザイン研究」

新しい豊かさを求めて
日本の新しいマスタープランの提案

平成6年11月

社会資本研究会

研究題目

『社会資本整備 及び 公共投資のグランドデザイン研究』

研究目的

現況、対策を迫られている景気対策としての短期対応を含めた、社会資本整備 及び 公共投資の中長期ビジョンを検討提案する。

上記のテーマのもとに、地域・生活者視点を重視しながら、現況に、そして中長期への対応を探るアイデア豊かな成果の獲得を目指す。

研究項目

- 1) 生活者利益へとダイレクトにつながる社会資本とは何か。
- 2) 地域にとって必要な社会資本とは何か。
- 3) 景気対策としての社会資本整備への具体的なあり方。
- 4) 社会資本整備及び公共投資における長期ビジョンとは何か。

「誰にとっても分かりやすく、

誰にとっても熱く胸を打つ目標と組み立てが欲しい。」

『社会資本整備 及び 公共投資のグランドデザイン研究』
 これまでにご参加・ご協力いただいた方々

順不同・敬称略

委員	唐津 一	東海大学 教授	
	牧野 昇	㈱三菱総合研究所 取締役相談役	
	飯田 経夫	国際日本文化研究センター 教授	
	梶原 拓	岐阜県知事	
	高丘 季昭	㈱西友 代表取締役会長	
	長谷川 逸子	建築家	
協力委員	藤井 治芳	建設省 技監	
	吉川 淳	経済企画庁 総合計画局長	
	小長 啓一	アラビア石油(株) 取締役社長	
	香田 忠維	通商産業省 工業技術院 総務部長	
	久保園 晃	有人宇宙システム㈱ 代表取締役社長	
	勝部 領樹	ジャーナリスト NHKエンタープライズ顧問	
	内田 健三	政治評論家	
	平岩 外四	経済団体連合会会長 / 東京電力 企画部 佐藤部長	
事務局長	鈴木 浩二		
自治体 協力委員	宮田 靖次	熊本県長洲町長	
	中根 鎮夫	愛知県岡崎市市長 / 鈴木富雄氏 望月 東京事務所長	
	梶原 拓	岐阜県知事 / 東京事務所 武山誠氏	
	／日置 敏明	岐阜県 総務部 総合政策局長	
協 力	足立原 茂徳	厚木市長 / 伊藤 理事	
	高橋 清	川崎市市長 / 土木局 広域交通対策室 川神室長	
	鈴木 俊一 東京都知事		
	熊崎 俊孝	東京都 情報連絡室長	
	長洲 一二	神奈川県知事 / 総務部 庶務室 池田事務室長	
アンケート協力	平松 守彦	大分県知事 / 企画調整課	
	福島 譲二	熊本県知事 / 企画開発部 政策企画課	
	末吉 興一	北九州市市長	
	西尾 武喜	名古屋市長 / 計画局 総務課	
検討委員	杉森 康二	新構想研究会 事務局長	
	権太 恒正	東海大学 教授	
	薄井 充裕	日本開発銀行 地域開発企画部 副長	
	花崎 正晴	The Brookings Institution (前 日本開発銀行 経営計画室 調査役)	
	五十嵐 光由	日本開発銀行 企画部 副長	
	三宅 修	キリンビール 外資事業開発部 部長代理	
	伊藤 洋子	㈱系ネットワーク代表取締役	
東 純	ナムコ 取締役 企画部長		
オブザーバー 民間	成田 豊	㈱電通 取締役社長	
	峰政 俊彦	㈱神戸製鋼所 コパルコ ビーアールセンター 代表取締役社長	
	吉田 英彦	㈱東芝 取締役副社長	
	石川 桂三	㈱三菱総合研究所 役員付	
	小松 俊昭	日本開発銀行 企画部 調査役	
	山下 智之	同 総務部 副調査役	
	加藤 裕幸	同 地域開発企画部 副調査役	
	近藤 守正	㈱電通 企画開発局 次長	
	芝原 靖典	㈱三菱総合研究所 社会基盤部長	
	隈 研吾	建築家	
	渡辺 基行	㈱エム・エー・シー 代表取締役	
	省庁	倉橋 透	経済企画庁 総合計画局 社会資本班
		林 淳	経済企画庁 総合計画局 社会資本班
		佐藤 信秋	建設省 道路局企画課
		永森 栄次郎	建設省 道路局企画課
田崎 忠行		建設省 建設経済局	
山名 清郷		建設省 都市局都市計画課	
矢野 善章		建設省 道路局市町村道室長	
大石 久和		国土庁 計画・調整局	
山根 一男		和歌山県 土木部長 (前 国土庁 計画・調整局)	
奥野 晴彦		国土庁 計画・調整局 調整課長	
高部 佳之		郵政省 通信政策局 地域通信振興課 課長補佐	
橋本 久義		通商産業省 工業技術院 総括研究開発官	
根井 寿規		通商産業省 環境立地局総務部	
深野 弘行		秋田県 商工労働部次長 (前 通商産業省 商業振興課室長)	

本研究作業のあり方

当研究は、我が国におけるオピニオンリーダーとして、“広い視点と深い経験を有する民間からの各委員”と、同じく“高い意識と行動力を有する各省からの協力者”によって、そしてまた、“生活者視点・地域視点としての主体者である意識ある自治体”の三者構成によって成り立っている。

求められるべき社会資本は、これらメンバーからの具体的な積み上げによって進行されてきたものであるが、共通したコンセンサスは、「誰にとっても分かりやすく、熱く胸を打つ目標と組み立てが欲しい」であった。

“組み立て”とは、これまでのあらゆるものに対する見直しと、マネジメント力のある新しい構造をつくっていく研究作業の姿勢として、

“目標”とは、「新しい豊かさ」にむけて「主体者が夢をみることのできるインターフューチャーにおけるテーマづくり」であるとした。

故に、「新しい豊かさを求めて」をイメージ・テーマとする本研究提案は、これからの新しい経済計画や国土計画をも含めた、

「日本の新しいマスタープラン」として提案するに至った。

併せて、本研究に尽力・ご指導下さった方々に、事務局として深く御礼申し上げます。

事務局長

鈴木 浩二

研究題目／研究目的／研究項目

研究会 メンバーリスト

はじめに 新しい社会資本計画作成の視点 —唐津座長

本研究会からの「提案骨子」

新しい豊かさを求めて、日本の新しいマスタープランを検討する



新しい社会資本の構築に向けてのアプローチ
本研究会から提案されるニュー・コンセプト

提案骨子を支える考え方

本研究会からの具体的提案

———日本の新しいマスタープランとして
新しい豊かさ獲得のための構造試論

- 1 インターフューチャーからの社会資本計画
———主体者が夢をみることのできる社会資本
- 2 主体者が何であるかを考える
———何のための社会資本・公共投資か
- 3 構造試論
 1. 主体者が夢をみることのできる構造が欲しい <組み立て方>
 2. 公共投資の配分ノウハウそのものの改革
———インターフューチャーからの提案
- 4 新しい豊かさを獲得するための優先コンセプトとその実行
———「スーパー・マネジメント」による実行

各委員からの提案概要

研究会議事概要より編集

各委員からのテーマ別各論

「新しい社会資本へのアプローチの仕方」	唐津 一
「コンセプトエンジニアリングとプロジェクトマネジメント」	久保園 晃
「21世紀を視野に入れた社会資本整備」	香田 忠維
「21世紀型情報都市地域の整備」	梶原 拓
「地域の自立と社会域の関連について」	宮田 靖次
「今後の社会資本整備のあり方」	薄井 充裕
「社会資本整備に関する経済学的視点からの一考察」	花崎 正晴
「社会資本整備に関するメモ」	山根 一男
「実感のある豊かな国を創るために 積み残されたボトルネックの解消」	権太 恒正
「公共と福祉社会の建設をめざして」	杉森 康二
「地域視点を鑑みた社会資本整備と社会域」	深野 弘行
「知的コンテンツの高い国造りを目指した社会資本整備の必要性」	根井 寿規
「農業振興の視点からの社会資本整備」	三宅 修
「コンセプト・エンジニアリング」への基本方向	伊藤 洋子

(以下、研究会議の発言より編集)

「新しい豊かさを求めて——日本ウェイ・オブ・ライフの創造」	飯田 経夫
「元気の出る社会資本への提案」	牧野 昇
「個と公共の関係開発からなる新しい社会資本形成に向けて」	高丘 季昭
「人の生きていく場所を創り得る 真のディベロップメントとは」	長谷川 逸子
「アクティビティを捉えた 特化する社会域づくりをめざして」	藤井 治芳 一未挿入
「資本の捉え直しからの新たな社会資本整備」	吉川 淳

「日本の新たな発展を目指して」 事務局+杉森 康二

「社会資本整備及び公共投資のグランドデザイン」
——インターフューチャーからの提案 鈴木 浩二

構造試論への検討各論

情報通信の可能性検討と提案

研究会論点概要